

包括支援センターだより



認知症を知ろう～認知症になっても、安心して暮らせる地域を～

市では、認知症の人や周囲の人たちが安心して暮らせる地域を目指し、「認知症サポーター養成講座」を行っています。

【認知症サポーター】

認知症サポーターは、「なにか特別なこと」をやる人ではありません。認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族を温かい目で見守ってくれる人です。

身近にあるカフェのように気軽にお茶を飲みながら、認知症について同じ悩みや経験を持つ人たちと情報を分かち合い、ゆっくり語らうことができる憩いの場です。お気軽にお立ち寄りください。

地区	村上 「かたるんカフェ」	朝日 「スマイルカフェ」	神林 「まつかぜカフェ」
とき	1月25日(水) 午後1時30分～3時30分	1月23日(月) 午後1時30分～3時30分	1月29日(日) 午後1時30分～3時
ところ	マナーテ村上2階 喫茶ルーム	グループホーム ふるさと	グループホーム まつかぜ
参加費	100円	無料	無料
対象者	ご本人・ご家族・認知症に関心のある人など		
申し込み	事前申し込みは必要ありません。出入りも自由です。直接会場にお越しください。		

【認知症サポーター養成講座】

講座は、地域や職場、学校など、どの団体でも随時受講することができます。参加者の年齢も問いません。社員研修として受講する企業もありますので、ぜひ受講して認知症の理解を深め、地域を支える一員となってみませんか。

市民約4,500人がすでに認知症サポーターとなっています



認知症サポーター
マスコットキャラ
クター「ロバ隊長」

八幡社会福祉士
今年の抱負：早寝早起き

●申し込み・問い合わせ

介護高齢課地域包括支援センター ☎53-2111 (内線365)
または各支所地域振興課地域福祉室

人権啓発シリーズ ⑤

～考えよう相手の気持ち 育てよう思いやりの心～



女性の個性と能力を大切に(女性の人権)

「女性だから、男性だから」「男は仕事、女は家庭」といった性別による固定的な役割分担の考え方に賛成する人の割合は、いまだに半数近くあり、性別や年代別によりその意識に若干の開きがあります(右表)。

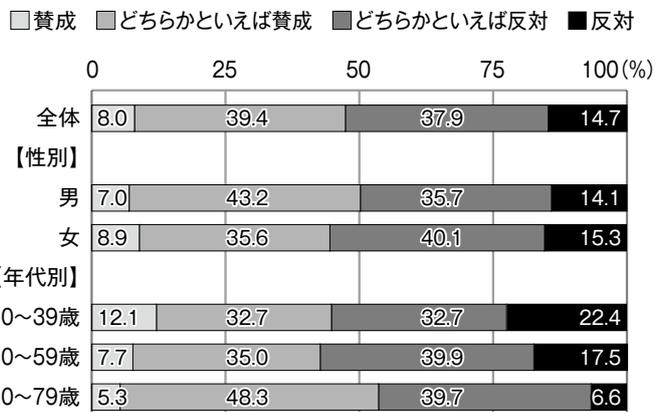
性別による固定的な役割分担意識にとらわれることは、男女それぞれの活動の広がりを難しくするというにつながります。

すべての人々が生き生きと安心して暮らし、豊かで活力ある社会を実現するためには、職場・家庭・地域で男女が共に参画することが必要です。

○問い合わせ

市民課生活人権室 ☎53-2111 (内線281)

固定的な役割分担意識 (夫は外で働き、妻は家庭を守るべき)



※新潟県「平成28年度県民アンケート調査 男女共同参画社会について」より